

当院における大腸腫瘍に対する UEMR の治療成績 についての検討

情報公開文書

日本赤十字和歌山医療センターでは、以下にご説明します研究を実施します。この研究への参加を希望されない場合は、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。またお申し出された場合でも、いかなる不利益を受けることはございませんので、ご安心ください。

研究目的

上皮性大腸腫瘍に対する新たな内視鏡治療法として、2012年に浸水下の内視鏡切除法が報告されました。20mmまでの病変に対しては生理食塩水を局注する従来の内視鏡切除法に比べ、浸水下切除法はより完全切除率が高いことも報告されています。しかし、20mm以上の大型上皮性大腸腫瘍に対する治療成績の報告は少ないのが現状です。一方で、実臨床では時にそのような大腸腫瘍に対し浸水下切除法が必要となる場面に遭遇することがあります。今回当院における20mm以上の大型上皮性大腸腫瘍に対する浸水下切除法の治療成績を評価し、さらに一括切除のために有効な手段について検討しました。

浸水下切除法は比較的容易に施行可能であることが多いです。大型上皮性大腸腫瘍を浸水下切除法で一括切除できれば、治療時間および入院期間の短縮、治療可能な内視鏡医の拡充、に資する可能性があります。

研究期間

2021年3月1日から2024年2月29日（3年間）の予定

研究の対象となる方

2016年10月から2020年12月の間に日本赤十字社和歌山医療センター消化器内科で大腸ポリープに対し内視鏡切除を受けられた方。

研究の方法

電子カルテを使用して、匿名情報に加工したデータを使用します。このデータをもとに、

浸水下切除法の治療成績について調査します。

使用する情報および個人情報の保護

患者さん個人番号（ID）と氏名が含まれていない状態で、電子カルテからデータを抽出します。また研究用パソコンは、インターネットにつなぎません。論文化から10年程度データを保存しますが、その後に適切にデータを破棄します。

研究資金・利益相反について

該当する利益相反はなく、研究資金は日本赤十字社和歌山医療センターから提供されま
す。

研究計画書などの入手・閲覧方法・手続き

研究計画書などは入手閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせくだ
さい。

個人情報の開示にかかる手続きについて

ご自身の情報を閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

研究責任者

岩上 裕吉 日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科 医師

共同研究者

赤松 拓司	消化器内科	副部長
小西 隆文	消化器内科	医師
中谷 泰樹	消化器内科	副部長
山下 幸孝	消化器内科	部長

お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 総務課

電話 073-422-4171（代表電話）

所在地 〒640-8558 和歌山市小松原通 4-20